



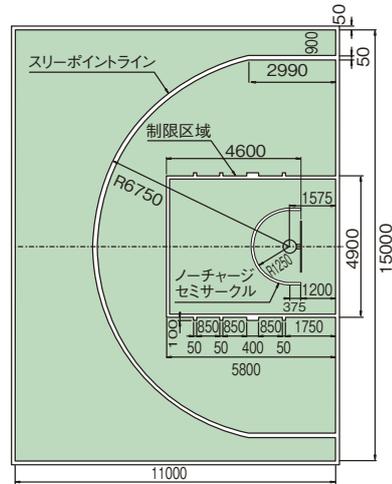
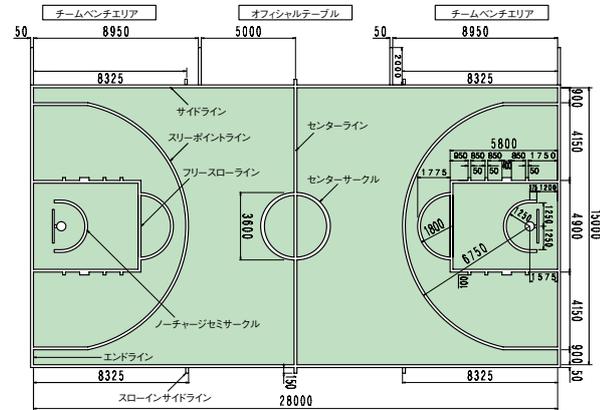
※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

## バスケットボール・車いすバスケットボール

## 3x3コート

公式競技用コート28M×15M。

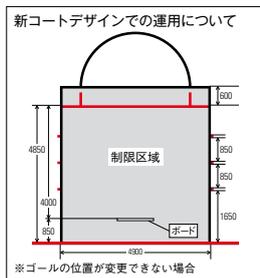
- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。
- 障害限度  
境界線から障害物や観衆まで2M以上、天井の高さは7M以上。



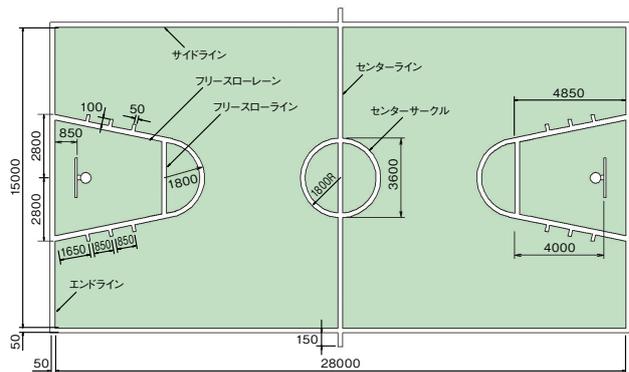
## ミニバスケットボール

コートの大きさは、縦28M~22M、横15M~12Mとする。  
初心者のコートの大きさは変更してよいが、縦・横の長さの  
釣り合いはこれに比例するようにする。

- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。



[長方形の場合]

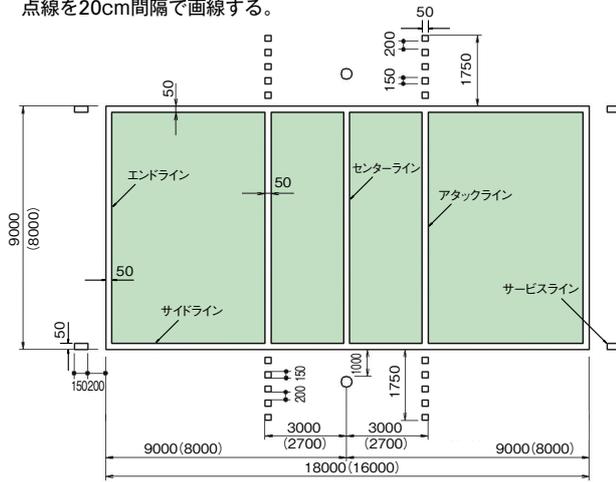


[台形の場合]

## 6人制バレーボール

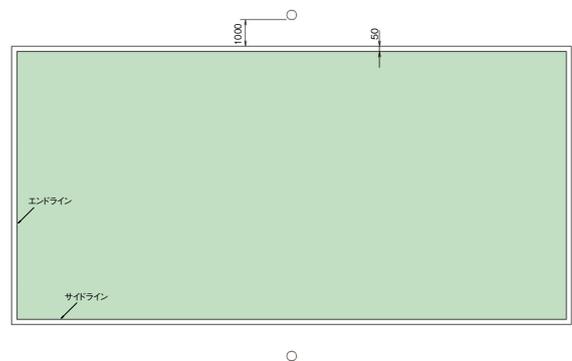
- ネット高さ  
一般男子：243cm 一般女子：224cm 中学男子：230cm 中学女子：215cm  
高校男子：240cm 高校女子：220cm 小学男子：200cm 小学女子：200cm

- 障害限度  
サイドラインより5M以上、エンドラインより6.5M以上。  
高さは国際大会で12.5M以上、国内大会で7M以上。  
国際大会ではアタックラインの延長線上に長さ15cmの  
点線を20cm間隔で画線する。



※ ( )は小学校用

## 9人制バレーボール



	長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ		長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ
一般男子	21M	× 10.5M	238cm	家庭婦人	18M	× 9M	205cm
高校男子	21M	× 10.5M	225cm	高校女子	18M	× 9M	205cm
中学男子	20M	× 10M	215cm	中学女子	18M	× 9M	200cm
一般女子	18M	× 9M	210cm	小学校	16M	× 8M	190cm

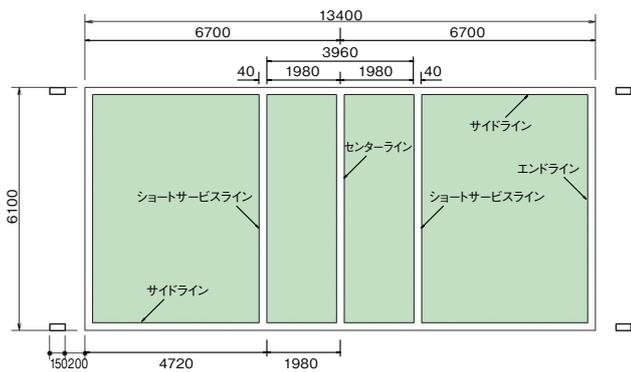
図面単位：mm

体操器具  
製品  
バスケット  
ボール器具  
バレーボール  
器具  
その他屋内  
球技器具  
体育館施設  
器具  
格技器具  
障がい者  
関連器具  
フィットネス  
器具  
体力測定  
器具  
ロッカー！  
清掃器具  
水上器具  
屋外施設  
器具  
サービス事業



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

ソフトバレーボール

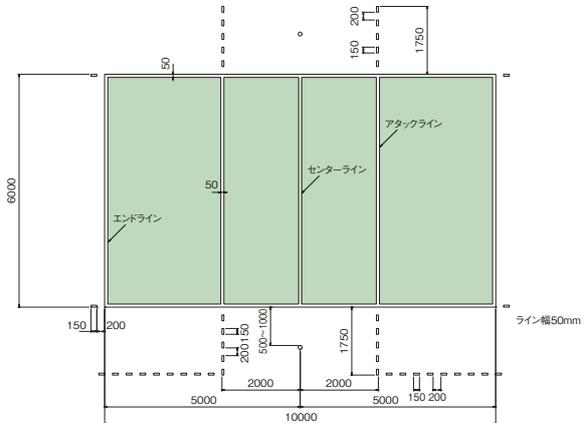


コートは、13.4M×6.1Mの広さを持つ長方形であって、最小限2Mの幅の長方形のフリーゾーンによって囲まれている。コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画される。また、ネットの真下に、両サイドラインを結ぶセンターラインを引き、コートを2等分する。ネットの高さは、200cmとし、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用いる。コートは、バドミントンのダブルス用コートの外側ラインを利用してよい。

座位バレーボール

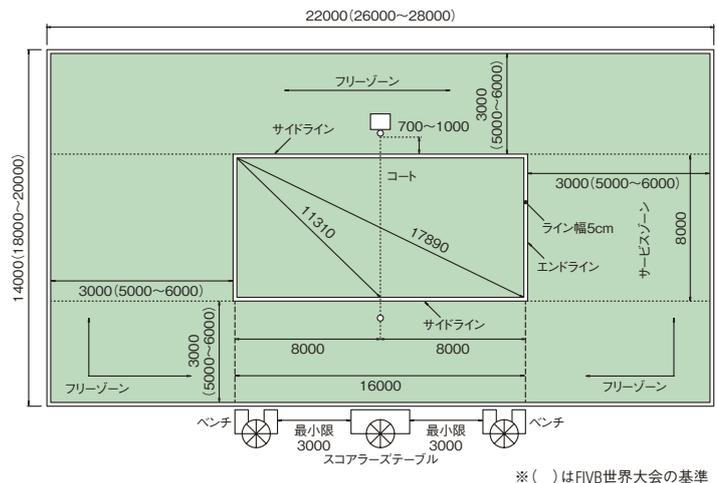
公式競技用コート10M×6M。

- ネットの高さ  
男子：115cm 女子：105cm
- 障害限度  
サイドラインより4M以上、エンドラインより5M以上。  
高さは7M以上、国際公式試合では10M以上。



ビーチバレー

- ネット高さ  
一般男子：243cm 一般女子：224cm  
16歳以下男子：224cm 16歳以下女子：224cm  
14歳以下男子：212cm 14歳以下女子：212cm  
12歳以下男子：200cm 12歳以下女子：200cm
- コート  
16M×8Mの長方形でライン幅は5cm。  
地面はできる限り水平で均一であり、選手に危険性のないもの。  
国際大会では、砂地は最低40cmの深さがあり、きめ細かい粒の砂。
- 障害限度  
ラインから3M以上。  
国際大会では5M以上6M以下。  
高さは7M以上、国際大会では12.5M以上。



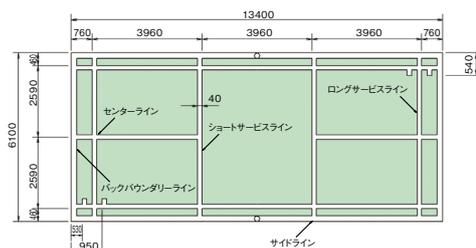
※ ( ) はFIVB世界大会の基準

バドミントン(ダブルス)

ポスト高さはコート面から155M、サイドライン上に立てられない時は40mm以下の細いポストカストラップを用い、サイドラインに固定させ、ネット紐に垂直に立てる。

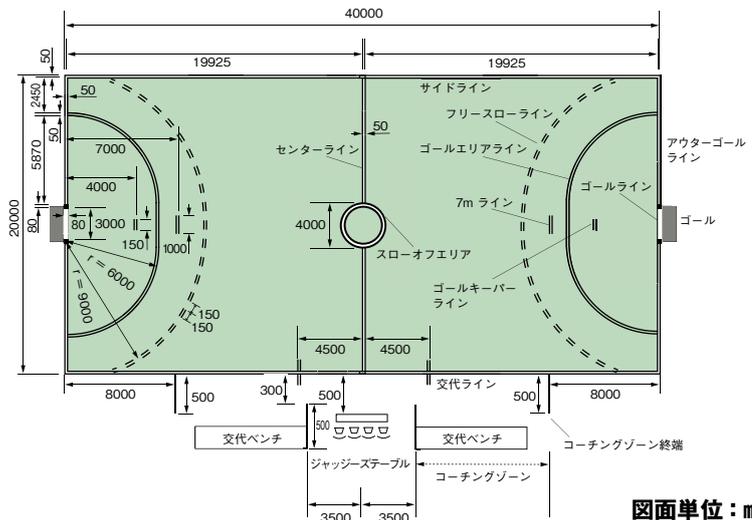
- 対角線距離  
シングルス…半コート 8.469M  
全コート 14.366M  
ダブルス…半コート 9.061M  
全コート 14.723M

- 障害限度  
ラインよりそれぞれ2M以上、高さ12M以上  
(公式試合)



ハンドボール

コートは長さ40M(小学生の場合は36Mが標準)幅20Mの長方形で2つのゴールエリアと1つのプレーイングエリアで構成される。コートの周囲にはサイドラインに沿って幅1M以上、ゴールラインの後方に幅2M以上の安全地帯を設けなければならない。  
2本のゴールポストの間のゴールラインは幅80mm、それ以外の各ラインはすべて幅50mmとする。  
※直径4000mmのスローオフエリアをラインで引いたコート



図面単位：mm

コート  
リスト  
製品

体操器具

バスケット  
ボール器具

バレーボール  
器具

その他屋内  
球技器具

体育館施設  
器具

格技器具

障がい者  
関連器具

フィットネス  
器具

体力測定  
器具

ロッカー！  
清掃器具

水上器具

屋外施設  
器具

サービス事業

資料

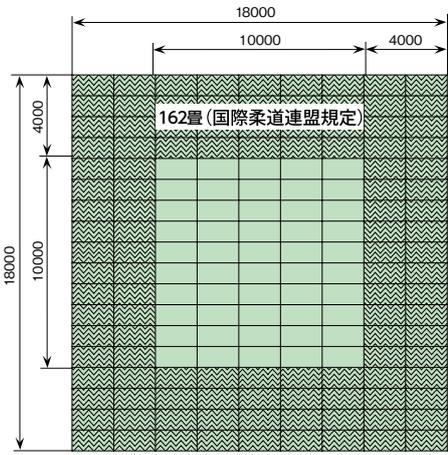


※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

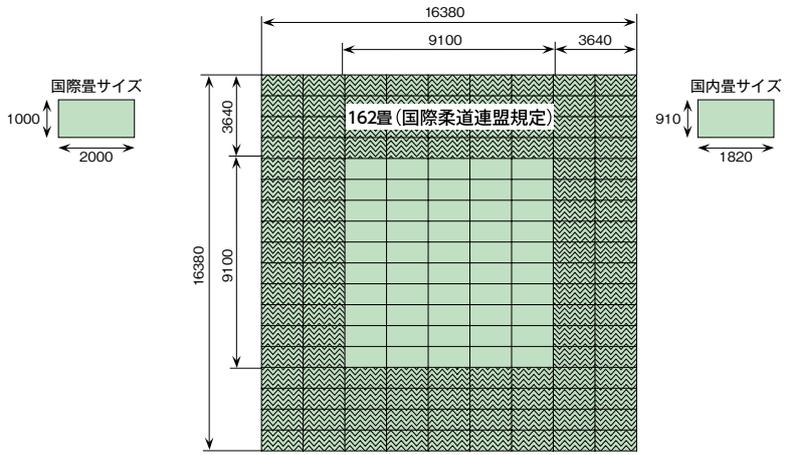
## 柔道

IJF主催のオリンピック、世界選手権、世界マスターズ、各種選手権の場合、試合場内を10M×10M、場外安全地帯を4Mで行います。上記以外のIJF主催の大会では、試合場内を8M×8M、場外安全地帯を3M~4Mで行います。

関西間敷き込み (10M×10Mに近づけた場合)

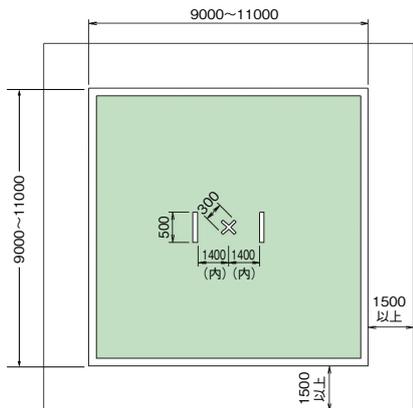


場内・場外を2色とする

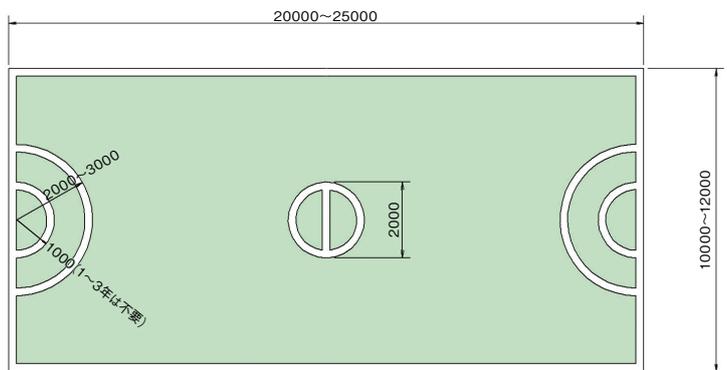


場内・場外を2色とする

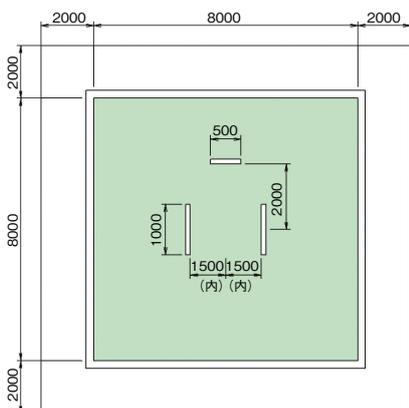
## 剣道



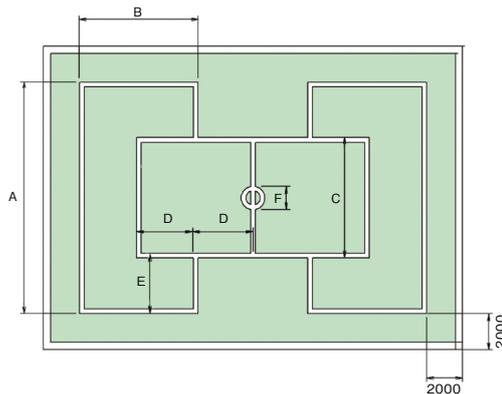
## ポートボール



## 空手



## ドッジボール



	小学生男子 小学生女子 中学生女子	中学生男子 高校生女子 一般女子	高校生男子 一般男子
A	16	19	22
B	8	9.5	11
C	10	11	12
D	5	5.5	6
E	3	4	5
F	3	3~4	3~4

(単位: M)

図面単位: mm

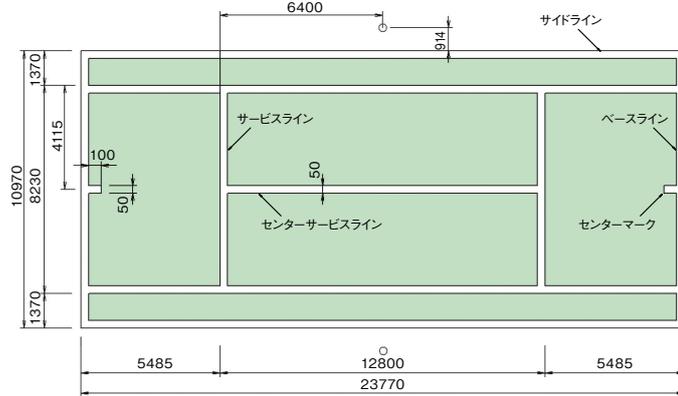
- 体操器具
- バスケット
- バレーボール
- その他屋内
- 体育館施設
- 格技器具
- 障がい者
- フィットネス
- 体力測定
- ロッカー・清掃器具
- 水上器具
- 屋外施設
- サービス事業



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

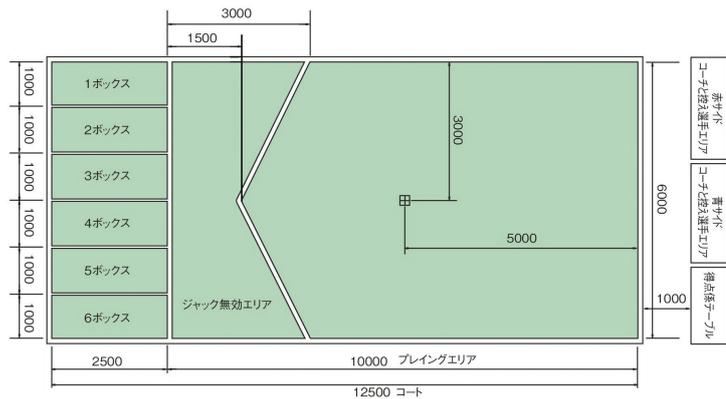
硬式テニス(ダブルス)

公式試合の場合はベースライン外6.4M以上、サイドライン外3.66M以上の空地がなければならない。  
 国際大会、公式トーナメントについては、ベースラインからバックストップまでの距離は最低でも6.4M以上、サイドラインからサイドストップまでの距離は最低でも3.66M以上が望ましい。  
 2面以上コートが並列する場合は、コート間の距離は3.66Mの2倍、7.32Mが望ましい。  
 特記なきライン幅は全て25mm~50mm。ポスト高さ1070mm、ネット高さはセンターで914mm、センターは50mm幅ストラップ止め。



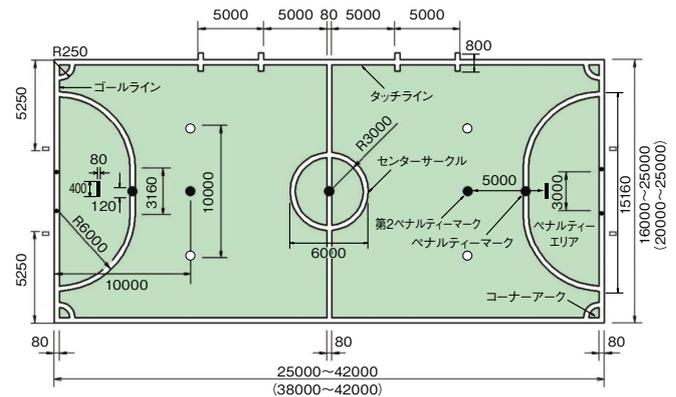
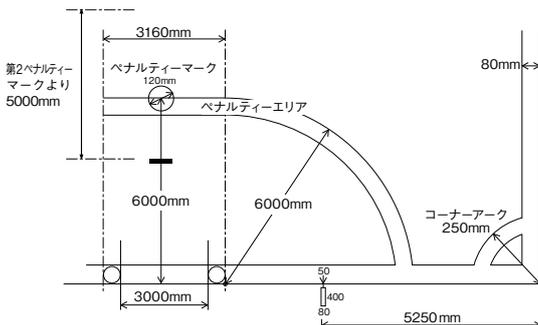
ボッチャ

コートの寸法は12.5Mx6Mとし、スローイングエリアは6つのスローイングボックスに分けられる。コートの外枠のラインは、内側を基準として計測する。スローイングボックスを区切るラインおよびクロスラインは細いテープを使用し、テープの中心が規定の位置となるよう左右均等に貼る。スローイングラインとVラインは、ジャック無効エリア内に貼る。  
 すべてのコートラインは、容易に識別できるものでなければならない。ラインは粘着テープを使用してもよい。コートの外枠、スローイングライン、Vラインには幅4.0または5.0cmの太いテープを使用する。スローイングボックスを区切るライン、ターゲットボックス、クロスには幅2.0cmの細いテープを使用する。ターゲットボックスの内寸は35cmx35cmとする。35cm四方のターゲットボックスの外枠は細いテープを使用する。



フットサル

競技場は長方形で、縦25M以上42M以下、横16M以上25M以下とする。縦の長さには横幅より大きいものとする。競技場は図に示すとおり、幅8cmの境界線によって描く。長いほうの境界線をタッチライン、短いほうをゴールラインという。ハーフウェイラインは競技場を横切って引かれる。競技場の中央を適当な印で示しこれを中心に半径3Mの円を描く。



( )内は国際試合寸法  
 図面単位: mm

コート  
 製品

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー・清掃器具

水上器具

屋外施設器具

サービス事業

資料